



# 学校通信

## 医生丘小だより

令和5年度 第20号 R6.1.9

北九州市立医生丘小学校

校長 大成 清徳

## 新年あけましておめでとうございます

### ～令和6年・2024年のはじめに～

◎冬休みも終わり、いよいよ後期後半が始まりました。門に立っていると、元気に「おはようございます。」と挨拶をする子どもたちの笑顔に、心もぼかぼか温かくなり、気持ちのよいスタートを迎えることができました。

保護者の皆様のご協力のお陰で、年末年始に大きな事故や病気の連絡もなく、無事にこの日を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

#### 辰年の意味は？

今年は「辰年」、十干では「甲」、干支は「甲辰（きのえ・たつ）」となります。辰は、十二支の動物の中ではただ一つの実際にはいない生き物ですが、とても縁起の良い尊い生き物とされています。特に、「甲」は植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があります。今年は、これまで努力してきたことが花開き、実り始める年になると言われており、とても縁起の良い年と言えそうですね。

元旦から、能登半島地震という大きな災害に見舞われた今年。子どもたちには、当たり前の毎日に感謝し、自分自身を大切にしてほしいと願って、次のようなお話をしました。

みなさんも知っている通り、今年のお正月は、石川県で最大震度7の能登半島地震が発生し、大きな被害が出ているからです。多くの尊い命が失われ、住む家が壊され、いまだに行方が分からない方の捜索が続いています。

こうした震災を目の当たりにして思うことは、自然の力には、私たち人間はとてまかなわないということ。そして、何気なく過ごしている毎日が、決して当たり前のことではなく、どれだけありがたいかということです。被災された方のために、私たちが今できることは、1日も早く安心な暮らしが取り戻されることを願うとともに、今、生きていることに感謝して1日1日を大切に過ごすことしかありません。このことをしっかりと胸に刻んで、新しい年の第一歩を踏み出しましょう。(中略)

今年は、能登半島地震に続き、羽田空港での衝突事故、小倉駅前の火災と、大きな事故のニュースで始まりました。

その中で、人々を救うために全力を尽くして自分の役割を果たす人たちがいます。地震による津波が迫る中、「今すぐ逃げてください!」と大声で叫びつづけた NHK のアナウンサー。余震が続く今でも、危険と隣り合わせで一人でも多くの命を救おうと活動する消防士さんや自衛隊、警察の方々、そして、お医者さんや看護師さんたち。炎に包まれた航空機から、冷静に 367 人の乗客全員を無事に脱出させた日本航空の乗務員のみなさん。

こうしたことは、すべて日ごろからの準備があっただけの行動です。私たちの生活は、このように日々地道に仕事をしている多くの人によって支えられています。どんな仕事にも、必要とされる役割があるように、みなさんひとりひとりにも、必ずその人でなければならない大切な役割があります。

1年の始まりに、自分なりの目標を立てている人もいることでしょう。うまくいかないこと、失敗することがあっても、この世に一人しかいない「自分」というかけがえのない命を大切に、自分を信じて努力し続けましょう。特に、後期後半は短いですがとても大事な時期です。4月から6年生は中学生に、1年生から5年生は一つ上の学年に進級するための準備をするときです。なりたい自分を胸に描いて、龍のように天高く駆け上る1年にしてほしいと思います。

今年も医生丘小の子どもたちが、「なりたい自分」を目指して、一步一步前進できるように、職員一同取り組んでいきたいと思っております。引き続き、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

## ❁ 年の初めに 平和な世界の訪れを願って

◎新しい年が明けましたが、世界を見渡せば、残念ながら国と国、民族と民族、お互いの考え方の違いなどで、相変わらず争いが絶えない状況が続いています。年末から年明けにかけて、ロシアによるウクライナへのミサイル攻撃が行われ、2月にはウクライナ侵攻開始から2年を迎えるにも関わらず、停戦への動きは見られません。また、イスラエル軍によるガザ地区への空爆はやむことなく続き、1月6日には24時間で162人もの死亡者が出たとの報道がありました。

戦火の中で、直接戦闘に関わっていない罪のない人々が犠牲になっていることに憤りを感じるとともに、いまだに戦争という手段でしか物事を解決できない人間の愚かさに情けなさを覚えます。

どうすれば、争いのない平和な世界を築くことができるのでしょうか？答えのない問いに思いを巡らせていた年明けに、ウクライナの戦争をきっかけに『窓際のトットちゃん』の続編を書かれた黒柳徹子さんのインタビューが朝日新聞の1月1日号に掲載されていました。平和を身近なこととしてとらえ、私たちにできることは何かを考える手がかりになると思われます。その一部を抜粋します。

### ケンカはしたくない

「今の時代に大事だと思うのは、誰が何と言おうと、自分がいいと思ったら、平和の方に賛成する。私の基準は、平和かどうか、ということです」

「私は、人とケンカしたことはありません。中学生になって、ケンカはしない方がいいと思いました。すぐ後味が悪いし、『なんであんなことを言っちゃったんだろう』と嫌になる。ですから、言わない方がいいし『ケンカはすまい』とある日思ったんです」

「言ってケンカになるようなことは絶対に言わない。相手を傷つけるようなことも言わない。国と国との関係でも、戦争するほどのことは言わなくてもいいんじゃないかしら」

### 戦争の記憶

「私が子どもの頃も、空襲警報が鳴ると、子どもたちが防空壕に入って『家が焼けたら悲しいね。うちはあるかな』と話していたんです。家に帰ったら自分の親がそこで死んでいるかもしれない。それが日常会話だった。今考えるとウソみたいですよ」

「長崎に原爆が投下された8月9日は、私の誕生日と一緒にした。それ以来、私は一度も、誕生日パーティーのようなことはしていません。たくさんの方が亡くなって、今もご家族は悲しんでいるに違いないのに、誕生日を祝う気持ちになれなくて」

### 人に優しく

「今も紛争で戦っている子どもたちがいます。私が出会ったアフリカの女の子は銃を持って戦っていたけど、家に戻ったらまわりから『あの子は人殺しだ』と言われたそうです。憂鬱になって一人で家にこもっていました。私も一生懸命なぐさめて、『心配しないでいいんだから』と言ってね。」

……答えの見えない不安な時代を生き抜くために大切にしていることは？

「人に優しくする。ありきたりで平凡だとしても、私はとても大切なことだと思います。人を押しのけるのではなく、人のために何ができるかを考える。平和と一緒にですね。人に優しくすることも。」

## 1月の 主な予定

- 9日(火) 午前中授業 11時45分頃下校 ※朝の交通指導(12日まで)
- 10日(水) 給食開始
- 15日(月) 【6年】中学校の先生を招いて
- 16日(火) 【1年】栄美保育園との交流会③「学校探検」  
委員会活動
- 17日(水) 朝の読み聞かせ、避難訓練(地震)
- 23日(火) ~25日(木) 【4年】お箏体験
- 23日(火) CRT検査(1~3年生)、代表委員会
- 29日(月) ~2月2日(金) 給食週間
- 30日(火) クラブ活動